

産業廃棄物処理計画書	
令和 7年 6月 30日	
長崎市長 鈴木 史郎 殿	
提出者	
住 所 長崎市葉山1丁目32番16号	
氏 名 星野管工設備株式会社	
代表取締役 谷村正夫	
電話番号 095-856-1161	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	星野管工設備株式会社
事業場の所在地	長崎県長崎市葉山1丁目32番16号
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	管工事業
② 事業の規模	27億1千4百万/年
③ 従業員数	178人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	発生—収集運搬及び委託—（中間処理業者）—最終処分



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

総括責任者（専務取締役施工担当役員）松田勝徳 本社

```

graph TD
    A[松田勝徳 本社] --- B[経理部]
    B --- C[施設部]
    B --- D[設備部]
    B --- E[資材部]
    B --- F[時津、長与営業所]
    B --- G[諫早営業所]
    B --- H[島原支店]
  
```

施設部

設備部

資材部

時津、長与営業所

諫早営業所

島原支店

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（ 6年度）実績】

産業廃棄物の種類

アスファルト

コンクリート

排 出 量

3358.8 t

569.1 t

(これまでに実施した取組)

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

アスファルト

コンクリート

排 出 量

3000 t

400 t

(今後実施する予定の取組)

産業廃棄物自ら処分する

再生品利用

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

産業廃棄物の分別

汚泥の処分

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

舗装版切断後の汚泥の処理の徹底

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト	コンクリート
	全 処 理 委 託 量	3358.8 t	569.1 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	3358.8 t	569.1 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト	コンクリート
	全処理委託量	3000 t	400 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	3000 t	400 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

総括責任者（専務取締役施工担当役員）松田勝徳 本社

```

graph TD
    A["総括責任者（専務取締役施工担当役員）松田勝徳 本社"] --- B[" "]
    B --- C["経理部"]
    C --- D[" "]
    D --- E["施設部"]
    D --- F["設備部"]
    D --- G["資材部"]
    D --- H["時津、長与営業所"]
    D --- I["諫早営業所"]
    D --- J["島原支店"]
  
```

 経理部

施設部

設備部

資材部

時津、長与営業所

諫早営業所

島原支店

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（ 6年度）実績】

産業廃棄物の種類

ガラス、陶磁器くず

金属くず

排 出 量

8.0 t

32.7 t

(これまでに実施した取組)

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

ガラス、陶磁器くず

金属くず

排 出 量

5 t

30 t

(今後実施する予定の取組)

産業廃棄物自ら処分する

再生品利用

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

産業廃棄物の分別

汚泥の処分

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

舗装版切断後の汚泥の処理の徹底

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス、陶磁器くず	金属くず
	全 処 理 委 託 量	8.0 t	32.7 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	32.7 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス、陶磁器くず	金属くず
	全処理委託量	5 t	30 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	30 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

総括責任者（専務取締役施工担当役員）松田勝徳 本社

```

graph TD
    A[松田勝徳 本社] --- B[経理部]
    B --- C[施設部]
    B --- D[設備部]
    B --- E[資材部]
    B --- F[時津、長与営業所]
    B --- G[諫早営業所]
    B --- H[島原支店]
  
```

 経理部

施設部

設備部

資材部

時津、長与営業所

諫早営業所

島原支店

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（ 6年度）実績】

産業廃棄物の種類

廃プラスチック

木くず

排 出 量

118.9 t

72.2 t

(これまでに実施した取組)

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

廃プラスチック

木くず

排 出 量

100 t

60 t

(今後実施する予定の取組)
産業廃棄物自ら処分する
再生品利用

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
産業廃棄物の分別
汚泥の処分

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
舗装版切断後の汚泥の処理の徹底

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	全 処 理 委 託 量	118.9 t	72.2 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	118.9 t	72.2 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	全処理委託量	100 t	60 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	100 t	60 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

総括責任者（専務取締役施工担当役員）松田勝徳 本社

```

graph TD
    A[松田勝徳 本社] --- B[経理部]
    B --- C[施設部]
    B --- D[設備部]
    B --- E[資材部]
    B --- F[時津、長与営業所]
    B --- G[諫早営業所]
    B --- H[島原支店]
  
```

施設部

設備部

資材部

時津、長与営業所

諫早営業所

島原支店

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	石綿含有産廃廃棄物
	排 出 量	3.7 t	1.3 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	石綿含有産廃廃棄物
	排 出 量	5 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 産業廃棄物自ら処分する 再生品利用		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産業廃棄物の分別 汚泥の処分
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 舗装版切断後の汚泥の処理の徹底

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	石綿含有産廃廃棄物
	全 処 理 委 託 量	3.7 t	1.3 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	石綿含有産廃廃棄物
	全 処 理 委 託 量	5 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

総括責任者（専務取締役施工担当役員）松田勝徳 本社

```

graph TD
    A[松田勝徳 本社] --- B[総括責任者]
    B --- C[経理部]
    C --- D[施設部]
    C --- E[設備部]
    C --- F[資材部]
    C --- G[時津、長与営業所]
    C --- H[諫早営業所]
    C --- I[島原支店]
  
```

 経理部

施設部

設備部

資材部

時津、長与営業所

諫早営業所

島原支店

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（ 6年度）実績】

産業廃棄物の種類

廃油

蛍光管

排 出 量

0 t

0 t

(これまでに実施した取組)

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

廃油

蛍光管

排 出 量

0 t

0 t

(今後実施する予定の取組)

産業廃棄物自ら処分する

再生品利用

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

産業廃棄物の分別

汚泥の処分

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

舗装版切断後の汚泥の処理の徹底

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	蛍光管
	全 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

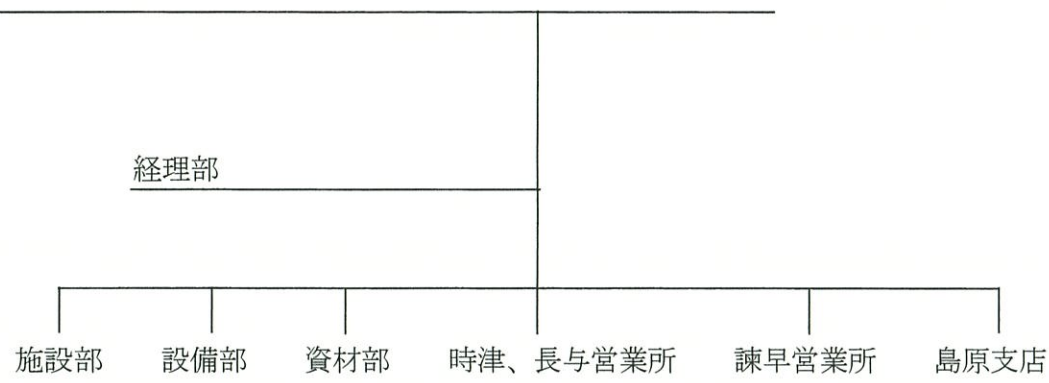
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	蛍光管
	全処理委託量	0 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

総括責任者（専務取締役施工担当役員）松田勝徳 本社



経理部

施設部

設備部

資材部

時津、長与営業所

諫早営業所

島原支店

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（ 5年度）実績】

産業廃棄物の種類

廃水道管

その他混合（紙くず）

排 出 量

2.4 t

5.2 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

廃水道管

その他混合（紙くず）

排 出 量

5 t

5 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物自ら処分する

再生品利用

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

産業廃棄物の分別

汚泥の処分

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

舗装版切断後の汚泥の処理の徹底

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃水道管	その他混合（紙くず）
	全 処 理 委 託 量	2.4 t	5.2 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃水道管	その他混合（紙くず）
	全処理委託量	5 t	5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

総括責任者（専務取締役施工担当役員）松田勝徳 本社

```

graph TD
    A[松田勝徳 本社] --- B[経理部]
    B --- C[施設部]
    B --- D[設備部]
    B --- E[資材部]
    B --- F[時津、長与営業所]
    B --- G[諫早営業所]
    B --- H[島原支店]
  
```

施設部

設備部

資材部

時津、長与営業所

諫早営業所

島原支店

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（ 6年度）実績】

産業廃棄物の種類

その他混合（がれき類）

その他混合（繊維くず）

排 出 量

38.5 t

0.13 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

その他混合（がれき類）

その他混合（繊維くず）

排 出 量

30 t

0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物自ら処分する

再生品利用

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

産業廃棄物の分別

汚泥の処分

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

舗装版切断後の汚泥の処理の徹底

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他混合（がれき類）	その他混合（繊維くず）
	全 処 理 委 託 量	38.5 t	0.13 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他混合（がれき類）	その他混合（繊維くず）
	全処理委託量	30 t	0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			